

令和8年度特別支援アドバイザー採用候補者選考基準について

(令和7年度実施)

千葉県教育委員会

1 千葉県が求める特別支援アドバイザー像

- (1) 人間性豊かで、使命感に満ちた特別支援アドバイザー
- (2) 幅広い教養と特別支援教育に関する高い専門性を有し、教職員の悩みや思いを受けてとめ、助言・援助ができる特別支援アドバイザー
- (3) 高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な特別支援アドバイザー

2 評価の方法等

・実施する選考

選考内容	配点又は評価の区分	採点基準等
小論文	5段階 50点	別表に示す観点により5段階で評価します。
個別面接	100点	教育委員会、学校関係者等が、別表に示す観点により評価します。

【別表】

評価項目ごとの観点 【小論文】

評価項目	観 点
内 容	誠実さ、向上心等があるか。
	創造性、洞察力等があるか。
構成力	課題の意図を把握し、題意に即した分析をしているか。
	論理的な主張になっているか。
指導力	特別支援教育に関する高い専門性があるか。
	幼児児童生徒の実態を正確に捉え、実態に即した助言・援助ができるか。
表現力	具体的なわかりやすい内容で、表現できているか。
	語句の用い方、表現は適切か。

評価項目ごとの観点 【面 接】

評価項目	観 点
人間性	明るく、活力があり、誠実さがあるか。
	他人の考えを尊重しながら、自分の考えを丁寧に表現することができるか。
	協調性があり、良好な人間関係づくりができるか。
資質情熱	助言・援助を通して、子供たちに生きる力を育もうとする意欲があるか。
	守秘義務等教育公務員と同等のコンプライアンスがあるか。
	職務、職責を理解し、忠実にその任務に当たろうとする意志があるか。
指導力	特別支援教育に関する高い専門性があるか。
	幼児児童生徒の実態を正確に捉え、実態に即した助言・援助ができるか。
	校内の指導体制を理解し、効果的に機能するよう助言・援助ができるか。

3 総合判定

- ・小論文・面接（個別面接）のそれぞれの結果を総合的に評価し、採用見込数内にある方を、特別支援アドバイザー候補者とします。